

教室で新聞を作るときには、編集にかかわる用語を知っていると便利でしょう。

- [1] 題字……題号とも言い、「朝日新聞」「朝日小学生新聞」などの新聞名をデザイン化して表札のように第１面に置いたもの。通常、縦型の場合は右上、横型の場合は最上段中央に置く。
- [2] 題字下……縦型の題字の下で、発行日や発行所、発行者名などを記すところ。横型の題字の場合は「題字横」となる。一般紙ではさらにその下や横に広告が入る。
- [3] トップ記事……その日の最重要ニュース。第１面の右上、題字の次に置かれる。各ページの一番重要な記事も、その面のトップ記事という。通常は各面の右上にある。
- [4] 見出し……記事の内容を一目でわかるよう表した短い言葉。文章の前に置かれ、大きさによって、その記事の重要度も表現する。記事の最も大事な要素を示す「主見出し」と、主見出しを補う役目の「袖見出し」や「肩見出し」を組み合わせて使うことが多い。
- [5] 前文（リード）……トップ記事などで長い文章の場合に、要点を簡潔にまとめて見出しの次に置く。多くの場合、２～４段分を通して組む。
- [6] 本文……ニュースや話題の詳しい内容。解説が加わることもある。重要なことから先に書く逆三角形の文章が基本。
- [7] 流し組み……おもな記事の文章が右上から左下に向かって流れ、次の記事の見出しにぶつかると、下の段に跳ね返って進んでいく組み付け方。大きさの異なる見出しや写真を紙面の対角線上にX型に配置していくのが代表的なレイアウト。これに対して、一つ一つの記事を四角く区切り、ブロックのように並べていく手法を「ブロック組み」という。
- [8] 欄外……紙面最上部の外枠の上に表示する、その新聞に関する情報。ページ、版、発行年月日・曜日、新聞名、第３種郵便物認可とその日付、コピーライト（著作権がその新聞社にあることを示す）、号数（創刊号からの通し番号）が記されている。
- [9] 中段罫……記事の段と段を区切る罫線。縦組みの場合は横に、横組みに場合は縦に引かれる。外枠の罫とは交わらない。囲み記事の中では中段罫を引かない場合もある。

（鈴木伸男 全国新聞教育研究協議会顧問）